



南海医療センター附属介護老人保健施設  
施設長 森本 章生



新年明けましておめでとうございます。

昨年夏は、とても暑かったという印象があり、そのためかこの冬は暖かい日が多いような気がします。インフルエンザが例年より早く流行したり、体調管理がとても難しくなっているように感じていますが、皆さんは大丈夫ですか？

さて今年には東京でオリンピックが開催されます。前回東京でオリンピックが開催されたのは、第18回夏季オリンピック大会の時であり、昭和39(1964)年10月10日～10月24日までの15日間で、10月10日がのちに“体育の日”として休日になったことを覚えている方はいらっしゃると思います。私はその時小学1年生で、遠い記憶の中に“オリンピック”というスポーツの大会があり、小学校でテレビを見ながら応援したかな、くらいしか覚えていません。今回は、国立競技場の建設や各種競技の開催地変更、開催時期のことでいろいろな報道がありました。前回から56年経ち今回東京で第32回夏季オリンピック大会が開催されることは、とてもワクワクするものだと私は感じています。入所されている方々と一緒に応援する機会が持てればと考えています。

本年が皆様にとって良い年でありますことを祈念するとともに、今年も南海老健をよろしくお願い申し上げます。



副施設長 神崎 啓慈



新年明けましておめでとうございます。  
ご利用者及びご家族の皆様へ、旧年中は大変お世話になり、職員一同心より御礼申し上げます。元号が平成から令和とかわり最初のお正月を迎え、本年は東京オリンピックが開催され日本国民が一体となり多岐に盛り上がる年となることと思います。佐伯市は、高齢化率が40%に迫っており介護施設の重要性も増している中、当施設は本年もご利用者様が安心して生活できる環境の提供を第一に職員が一丸となり、更なるサービスの向上に努めて参ります。また、介護人材の確保や人材の育成はもちろん、当施設に課せられている使命として地域貢献活動も積極的に取り組み、今後も地域の皆様に信頼される南海老健を目指して参ります。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション室 室長  
理学療法士 富松 満代



新年明けましておめでとうございます。  
昨年中は大変お世話になりました。日頃のご厚情に深く感謝いたします。昨年は新元号『令和』となり、新たな時代の幕が開けられました。国民の幸福と世界平和を願う天皇陛下のお姿に、日頃味わえない感動を受けました。どんなに願っても災害や戦争が絶えず、国内では毎年のように大きな災害が姿かたちを変え、あらゆる地域に襲いかかってきます。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。私たちも明日は我が身、できる限りの備えを着々と進めなければなりません。  
さて今年にはオリンピックイヤーです。世界各国から世界級の能力を持った方々が、世界級の努力を積んで東京に集結します。間違いなく感動溢れるシーンがたくさん見られることと思います。足は運びませんが大いに熱気を感じ楽しみたいと思います。皆様と一緒に、感動をエネルギーに変えてリハビリに励む一年、今からわくわくします。今年もどうぞよろしくお願い致します。

南海居宅介護支援センター  
管理者 國部 昭夫



謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
居宅介護支援センターもおかげ様で昨年開設10周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援やご協力の賜物と深く感謝しております。昨年も色々な出来事がありましたが、世相を表す漢字一字は『令』の通り、平成から令和へと元号が変わり、節目の年となりました。介護保険制度も20年目になり、維持存続の為に時代に合わせ変化しつつあります。個人的にも昨年は、「災害時における介護支援専門員の役割」について色々と考え取り組みの継続をした1年間でした。住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりとして2025年までに「地域包括ケアシステム」の構築が目標とされています。誰もが災害は避けたいところですが、いざとなった時にこのシステムが災害時においても役立つものとなるよう介護支援専門員として関わっていきたく思います。今年も皆様に愛され信頼される事業所を目指し日々精進して参る所存です。今後とも変わらぬご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

看護師長 久保田 忍



新年明けましておめでとうございます。  
昨年中は、利用者様やご家族様、そして地域の皆様より、温かいご支援やご理解をいただきありがとうございました。  
さて、私共の南海老健も今年の5月で設立20年目の節目を迎えます。社会の変化や介護をとりまく状況の変化に応じて、施設もまた変化していかなければならないと感じております。さらに、南海医療センターが1月から大きく生まれ変わりました。最新の医療設備と災害に強い病院として頼もしい限りです。利用者様の定期受診、臨時受診等についてもスムーズに行えるよう努力したいと思っています。  
今年も、施設スタッフ一同、利用者様の笑顔を励みに、令和の変化の時代に対応しながら施設の課題に取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。

管理係長 簀戸 志穂



新年明けましておめでとうございます。  
昨年中は、ご利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。平成から令和へと変わり、初めてのお正月はどのように迎えられたでしょうか。  
お正月とは年始にあたり「年神さま」を迎え、歳(年齢)を重ねられたことを祝い、豊年を祈る行事です。1年の幸福をもたらしてくれる年神さまに家にきてもらうための目印となる正月飾りが「門松」とされています。また、年神さまが降りてこられた後、宿る依り代(よりしろ)になるもの、一年の幸せ(五穀豊穡)をねがうもの、長寿を願うものという意味もあるそうです。当施設では門松を職員有志の皆様と共によい一年を迎えられるよう願いをこめて毎年作成し10数年がたちました。新しく迎えたこの一年、元気に毎日を過ごしていただけるよう心をこめてお手伝いさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

介護士長 川井 忠明



新年明けましておめでとうございます。  
昨年の、明るいニュースと言えば、旭化成の吉野彰氏ノーベル賞受賞ではないでしょうか。吉野先生の発明は、私達の生活に直結するものでした。先生は日頃から笑顔を絶やさず受賞後の多忙な時でもいつも笑顔で、周りを和ませてくれるような雰囲気がありました。  
さて今年2020年はねずみ年です。「ねずみは寝ず身」とも言うようにねずみ年生まれの方は、真面目にコツコツと働く方が多く、鋭い勘とひらめきの持ち主でもあるようです。また、子年は十二支の最初ということで新しい運気のサイクルの始まりでもあり、「子年は繁栄」という格言もあります。今年も南海医療センターも新病院での診療開始ということで職員の方も新たな気持ちで仕事に従事されていると思いますので、私達も負けないように頑張っていきたいと思っています。皆様におかれましては、2020年が健康で実りのある年になることを祈念いたしまして新年の挨拶いたします。